

平成30年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	国語	科目名	現代文A	単位数	1	履修学年・クラス	3学年全クラス
担当者		使用教材	東京書籍「現代文A」・「現代文A学習課題ノート」・「新総合図説国語」・国語辞典				
学習目標	近代以降のさまざまな文章を読むことによって、我が国の言語文化に対する理解を深め、生涯にわたって読書に親しみ、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。						
学習方法	○様々な文章を読み味わい、板書事項をノートに書いて理解を深める。 ○自分の意見を話したり書いたりする。 ○補助教材を用いて、常用漢字の修得をめざす。						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	関	関心・意欲・態度	文章を読む楽しさを味わい読書に親しむとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。				
	能	話す・聞く能力					
		書く能力					
		読む能力					
知	知識・理解	言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身につけている。					
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			関	話	書	読	知		
前 期 中 間	小説 「ころ」	表現や展開を的確に読み取り、主人公の心理を理解する。	○	○	○	○	○	関: 近代を代表する作者について調べようとしている。 能: 主人公の葛藤を理解している。 知: 難解な語句の読みと意味を理解している。	行動の観察 記述の確認
前 期 末	随想・評論 「もう一つの知性」	取り上げられている問題を読み取り、人間や社会、自然などについての視野を広げる。	○	○	○	○	○	関: 情報化社会の問題を考えようとしている。 能: 筆者の主張を理解している。 知: 難解な語句の意味を理解している。	行動の観察 記述の確認
後 期 中 間	小説 「藤野先生」	留学生として出会った先生に対する回想と、月日を経るの認識の違いを読み取る。	○	○	○	○	○	関: 主人公の心理に肉薄しようとする 能: 登場人物の心理を理解している。 知: 難解な語句の意味を理解している。	行動の観察 記述の確認
後 期 末	随想・評論 「環境史から考える」	発展・発達の光と影を筆者がどのように把握しているか理解する。	○	○	○	○	○	関: 農学徒として自分自身に引き寄せている。 能: 問題の根本は何かを読み取る。 知: 社会科学分野の知見を吸収しようとしている。	行動の観察 記述の確認